

## 福臨技企画 1

「“New Normal” 新たな時代を迎えて～新型コロナウイルス感染下における技師会活動の今後～」

# 新型コロナウイルス感染下における 福岡県臨床衛生検査技師会の活動と今後の展開～

◎大久保 文彦<sup>1)</sup>、外山 洋子<sup>1)</sup>、倉重 康彦<sup>1)</sup>、池上 新一<sup>1)</sup>  
緒方 昌倫<sup>1)</sup>、佐藤 謙一<sup>1)</sup>、木村 賢司<sup>1)</sup>、西浦 明彦<sup>1)</sup>

一般社団法人福岡県臨床衛生検査技師会<sup>1)</sup>

### 【はじめに】

新型コロナウイルス感染症の影響により、福岡県臨床衛生検査技師会（福臨技）の活動も2020年2月下旬より延期・中止とし、毎月のオンライン会議で方向性を模索してきた。その結果、2020年8月よりオンラインを用いた研修会を開始した。福臨技は4地区から構成され、各地区長のもとそれぞれの学術部門が地区の研修会を主催し、福臨技活動の根幹となる事業である。

### 【初期対応】

オンラインシステムの整備：当初は3アカウントで開始し、その後は各地区にそれぞれ専用のアカウントを設け地区長の管理とした。運用ルールの整備：操作方法は、運営者、参加者それぞれの運用手順を作成し、また様々な質問に対して質疑応答集を作成し随時アップデートした。現在は6アカウントで運用している。日臨技システムには、必ず研修会開催概要をPDFで掲載し会員への情報提供に努めてきた。

### 【福臨技が担当する学会】

第30回福岡県医学検査学会（参加者685人）：2020年12月にオンデマンドで開催した。第70回日本医学検査学会（参加者7691人）：2021年5月に現地開催を予定していたが、会期は延期することなくオンデマンドで開催した。第31回福岡県医学検査学会：2022年6月オンデマンドで開催中。第56回日臨技九州支部医学検査学会：2022年11月5日・6日に現地開催で準備中。

### 【研修会の回復状況】

各地区主催の学術部門研修会を新型コロナウイルス感染前の2018年度と比較すると、2018年度は、参加者6047人/210回（平均28.8人）、2020年度は2366人/63回（平均37.9人）、2021年度は4780人/109回（平均43.9人）であった。参加人数は79%の回復率であるが、参加平均人数は152.4%と増加し、今まで参加できにくい環境下の会員が参加できるようになったものと考えられる。

### 【今後の展開】

現在は運営側が企画し、会員へ情報提供しているが、各施設での日頃の問題点や課題について、会員どうして自由に利用できる双方向性のオンラインシステムの構築が課題である。